

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場会社名 株式会社タカミヤ 上場取引所 東
 コード番号 2445 URL <https://www.takamiya.co/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高宮 一雅
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部経理部長 (氏名) 辰見 知哉 TEL 06-6375-3918
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	34,291	7.6	2,772	38.2	2,614	33.2	1,750	48.1
2019年3月期第3四半期	31,869	18.4	2,006	44.2	1,963	37.8	1,181	8.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,718百万円 (60.0%) 2019年3月期第3四半期 1,073百万円 (0.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	39.40	38.30
2019年3月期第3四半期	27.58	26.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	57,715	17,954	30.3	376.06
2019年3月期	54,414	14,575	26.0	330.62

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 17,512百万円 2019年3月期 14,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	4.00	-	7.00	11.00
2020年3月期	-	6.00	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	-	-	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,590	8.1	3,930	44.8	3,630	36.3	2,440	49.0	54.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	46,577,000株	2019年3月期	45,467,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	7,020株	2019年3月期	2,606,971株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	44,417,426株	2019年3月期3Q	42,840,704株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中通商問題、英国のEU離脱等の動向が懸念されており、不透明な状況が続いております。国内におきましても、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、自然災害が相次ぎ発生するなど、先行きに予断を許さない状況でありました。

当社グループに関連する建設業界は、国内では、東京オリンピック・パラリンピック開催直前の関連工事や首都圏を中心とした大規模再開発工事が佳境を迎えております。更に、インフラ再整備などの公共工事も本格化しており、環境は総じて良好に推移しております。一方で、建設労働者の不足と建設現場における安全基準の高まりは、依然として業界の課題となっております。

海外におきましても、当社グループが事業拠点を置くASEAN地域では、フィリピンでの公共インフラ・都市開発など、建設需要は旺盛で、環境は良好に推移しております。

このような環境の中で当社グループは、「トランスフォームにより新たな価値を創造し、業界の質的發展を牽引する企業グループを目指す」を中期経営ビジョンに掲げ、経営基盤の強化、収益基盤の革新、海外展開の加速、新たな成長事業の創出、この4項目を課題として取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高34,291,954千円(前年同期比7.6%増)、営業利益2,772,843千円(前年同期比38.2%増)、経常利益2,614,492千円(前年同期比33.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,750,138千円(前年同期比48.1%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①販売事業

旺盛な建設需要と建設現場における安全基準の高まりに伴う、従来の枠組足場から次世代足場への移行を背景に、「Iqシステム」及び周辺部材の販売が堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高11,246,758千円(前年同期比11.6%増)、営業利益1,414,854千円(前年同期比6.9%増)となりました。

②レンタル事業

民間建築工事向けの仮設機材においては、旺盛な需要を背景に、「Iqシステム」を中心とした仮設機材が高稼働で推移いたしました。土木・橋梁工事向けの仮設機材においても、北陸新幹線延伸工事等の大型現場への出荷がピークを迎えようとしております。これらにより、当第3四半期連結累計期間における民間建築、土木・橋梁工事を合わせた仮設機材全体の貸出数量は、創業以来の高い水準を継続しております。利益面では、レンタル用仮設機材への投資を抑制しつつ、効率的運用に取り組んだ結果、セグメント利益が大きく増加いたしました。

これらの結果、売上高19,485,902千円(前年同期比11.4%増)、営業利益2,301,445千円(前年同期比36.1%増)となりました。

③海外事業

太陽光関連事業について、受注環境は堅調に推移しているものの、前期のような大型案件はなく、売上金額は大きく減少いたしました。仮設機材レンタル事業については、旺盛な需要を背景に受注環境は堅調に推移いたしました。仮設販売事業については、ホリーベトナム(ベトナム)及びホリーコア(韓国)での、安定的かつ効率的な生産体制が整った事により、セグメント間の販売が増加いたしました。利益面におきましても、積極的に事業展開を進めるに伴って、仮設機材の減価償却費や、地代等が増加しておりますが、売上総利益率の改善により、セグメント利益が回復してまいりました。

これらの結果、売上高5,532,921千円(前年同期比9.2%減)、営業利益300,476千円(前年同期比564.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、57,715,713千円となり、前連結会計年度末と比べ3,301,454千円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金の増加1,883,621千円、受取手形及び売掛金の増加1,929,040千円等によるものであります。

負債合計は、39,761,450千円となり、前連結会計年度末と比べ77,113千円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加908,986千円、短期借入金の増加666,180千円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少1,423,380千円等によるものであります。

純資産合計は、17,954,263千円となり、前連結会計年度末と比べ3,378,567千円増加いたしました。この主な要因は、資本金の増加317,983千円、資本剰余金の増加682,321千円、利益剰余金の増加1,170,694千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、2019年10月28日の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,734,184	7,617,805
受取手形及び売掛金	11,401,400	13,330,440
商品及び製品	3,170,300	3,564,424
仕掛品	965,979	821,634
原材料及び貯蔵品	1,001,093	1,054,578
その他	782,944	939,268
貸倒引当金	△274,311	△275,757
流動資産合計	22,781,590	27,052,394
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
減価償却累計額	△22,974,395	△24,561,192
貸貸資産(純額)	16,426,564	15,021,452
建物及び構築物		
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,361,117	△3,520,913
建物及び構築物(純額)	3,175,131	3,846,268
機械装置及び運搬具		
減価償却累計額	△1,137,582	△1,270,929
機械装置及び運搬具(純額)	1,188,764	1,146,915
土地	5,763,542	5,343,916
リース資産		
減価償却累計額	△444,153	△427,179
リース資産(純額)	459,760	420,827
建設仮勘定	305,038	437,082
その他	1,062,032	1,116,570
減価償却累計額	△752,478	△809,774
その他(純額)	309,554	306,796
有形固定資産合計	27,628,356	26,523,260
無形固定資産		
借地権	327,821	327,821
のれん	212,741	172,528
リース資産	11,363	8,637
その他	267,913	445,575
無形固定資産合計	819,840	954,563
投資その他の資産		
投資有価証券	454,484	512,571
差入保証金	577,834	673,606
会員権	39,356	39,606
退職給付に係る資産	73,543	78,093
繰延税金資産	899,404	721,186
その他	1,183,917	1,202,752
貸倒引当金	△44,069	△42,320
投資その他の資産合計	3,184,471	3,185,494
固定資産合計	31,632,668	30,663,318
資産合計	54,414,258	57,715,713

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,711,262	6,620,249
短期借入金	4,621,120	5,287,300
1年内償還予定の社債	160,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	5,858,184	5,753,143
リース債務	247,716	307,612
未払法人税等	763,642	448,347
賞与引当金	223,416	97,827
役員賞与引当金	19,060	—
設備関係支払手形	234,485	119,937
資産除去債務	—	22,845
その他	2,464,066	2,628,859
流動負債合計	20,302,955	21,486,122
固定負債		
社債	2,710,000	2,590,000
長期借入金	13,495,882	12,177,542
リース債務	967,697	1,332,646
退職給付に係る負債	900,280	919,697
資産除去債務	15,882	12,724
その他	1,445,865	1,242,717
固定負債合計	19,535,608	18,275,327
負債合計	39,838,563	39,761,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	732,130	1,050,114
資本剰余金	1,226,217	1,908,539
利益剰余金	13,395,332	14,566,026
自己株式	△1,233,173	△3,331
株主資本合計	14,120,506	17,521,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,507	61,663
繰延ヘッジ損益	△30,715	△18,093
為替換算調整勘定	55,101	△29,615
退職給付に係る調整累計額	△22,747	△22,377
その他の包括利益累計額合計	50,145	△8,421
新株予約権	296,346	306,115
非支配株主持分	108,696	135,220
純資産合計	14,575,695	17,954,263
負債純資産合計	54,414,258	57,715,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	31,869,789	34,291,954
売上原価	22,901,402	23,816,172
売上総利益	8,968,386	10,475,781
販売費及び一般管理費	6,961,999	7,702,938
営業利益	2,006,387	2,772,843
営業外収益		
受取利息	7,594	7,852
受取配当金	20,643	11,756
受取賃貸料	37,690	55,427
賃貸資産受入益	6,185	7,559
スクラップ売却収入	76,815	58,669
デリバティブ評価益	—	867
その他	89,403	93,871
営業外収益合計	238,333	236,004
営業外費用		
支払利息	186,485	200,929
支払手数料	51,771	48,207
社債発行費	4,674	—
為替差損	8,826	36,868
デリバティブ評価損	1,930	—
貸倒損失	—	63,206
その他	27,825	45,142
営業外費用合計	281,513	394,355
経常利益	1,963,206	2,614,492
特別利益		
固定資産売却益	—	154,369
特別利益合計	—	154,369
特別損失		
固定資産除却損	2,723	2,292
減損損失	31,054	53,134
のれん償却額	47,798	—
特別損失合計	81,575	55,426
税金等調整前四半期純利益	1,881,631	2,713,436
法人税、住民税及び事業税	595,584	773,053
法人税等調整額	92,110	163,735
法人税等合計	687,695	936,788
四半期純利益	1,193,935	1,776,647
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,350	26,508
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,181,584	1,750,138

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,193,935	1,776,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,477	13,172
繰延ヘッジ損益	8,744	12,622
為替換算調整勘定	△80,312	△84,716
退職給付に係る調整額	2,102	370
その他の包括利益合計	△119,942	△58,551
四半期包括利益	1,073,993	1,718,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,061,659	1,691,571
非支配株主に係る四半期包括利益	12,333	26,523

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年9月10日を払込期日とする公募による新株式発行及び自己株式の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が306,580千円、資本剰余金が670,918千円増加し、自己株式が1,229,878千円減少しております。

また、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ11,403千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,050,114千円、資本剰余金が1,908,539千円、自己株式が3,331千円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	販売事業	レンタル事業	海外事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	9,944,345	17,376,958	4,548,485	31,869,789	—	31,869,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	137,029	118,842	1,543,237	1,799,108	△1,799,108	—
計	10,081,374	17,495,801	6,091,722	33,668,898	△1,799,108	31,869,789
セグメント利益	1,323,038	1,691,527	45,255	3,059,820	△1,053,433	2,006,387

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,053,433千円には、セグメント間取引消去175,802千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,229,235千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに配分されていない減損損失は31,054千円であります。

また、「海外事業」セグメントにおいて、のれんの一時償却を行い、47,798千円を特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	販売事業	レンタル事業	海外事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	11,053,972	19,451,275	3,786,705	34,291,954	—	34,291,954
セグメント間の内部 売上高又は振替高	192,786	34,626	1,746,215	1,973,627	△1,973,627	—
計	11,246,758	19,485,902	5,532,921	36,265,582	△1,973,627	34,291,954
セグメント利益	1,414,854	2,301,445	300,476	4,016,776	△1,243,933	2,772,843

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,243,933千円には、セグメント間取引消去225,686千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,469,620千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに配分されていない減損損失は53,134千円であります。